

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（ 株式会社インテリア大英 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			役員から、社員、及びパートタイマーへ、積極的なコミュニケーションを図るとともに、職場環境(対人関係含む)の改善点等を聞き出し、改善に取り組んでいる。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			役員から、社員、及びパートタイマーへ、積極的なコミュニケーションを図るとともに、職場環境(対人関係含む)の改善点等を聞き出し、改善に取り組んでいる。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			早出の場合は、早上がりを実施する等、基本労働時間を超えないように取り組んでいる。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)	【非該当】		外国人労働者を雇用していない。また、業務上で関わる外国人労働者に対しても、そのようなことがないことを確認している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			安全帯、フルハーネス、安全ヘルメットの着用等、作業中の事故防止に努めている。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			10時、15時の休憩はもちろん、休日は十分休息できるよう、最大限の配慮を心がけている。特に、気になる点があれば、直属の上司に相談することで、過度なストレスを抱え込まないような対応ができています。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			ドッグサロン部門においては、女性のみで構成されたチームとなっており、多様な人材が十分に活躍できる環境が整っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			教育セミナー、経営セミナー、後継者育成セミナーに積極的に参加している。また、希望があれば、様々なセミナーに参加できるよう、柔軟な対応をしている。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			ベテラン、ルーキー問わず、同じ現場、同じ作業内容をこなすことにより、技術の継承に務めている。また、明確な給与体系により、公正な待遇を実現している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			現場内のクーラーを今年度より導入した。35℃を超える過酷な環境下は、生産性を低下させるだけでなく、命の危険に関わるため、今後も積極的にクーラーを使用していく。			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			産業廃棄物に関わるマニフェストを管理、実行しているだけでなく、現場内で発生した廃棄物の分別を徹底している。										11.6	12		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			会社管理の社屋における、水道、電気、ガス使用量を明確化しているだけでなく、社用車使用における消費ガソリンの集計も行っている。							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			各エネルギー量の排出量を把握しているだけでなく、節電対応機器への順次以降を進めている。また、車輛においても、ハイブリッド車の導入を進めることで、温室効果							7.2 7.3				12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			有機溶剤を使用する場合があるため、適切な環境下で使用するはもちろん、換気や廃棄方法に至るまで徹底した管理体制をしいている。			3.9			6.3				11.6	12.4						

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			現場内で出た汚水の処理方法には、気を配っている。特に、他社で問題になった用水路への汚水処理だけは、徹底して行わないように教育している。このほか車輛においても、ハイブリッド車の導入を進めることで、温室効果ガス抑制に努めている。						6.6								15				
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			現場内出た残材については、従来産業廃棄物として処理していたが、地元主催の産業フェスタにて、DIY材料無料配布と称し、利用可能な残材を配布することで、3Rの推進に取り組んでいる。											13		14.1					
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)										6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)						3.9			6	7						12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)																12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)										7.2							13				
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)																12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			汚職・贈収賄を禁止するモラルの周知はもちろん、汚職・贈収賄等が発生しないよう、公正な社員教育に努めている。（研修会、ミーティングの実施）																16 16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			競売の現場においては特に、不正競争行為を禁止するモラルの周知はもちろん、不正競争行為等が発生しないよう、公正な社員教育に努めている。（研修会、ミーティングの実施）																16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			知的財産に関する社員教育に努めている。（研修会、ミーティングの実施）特に、SNSへの投稿に関する事項には重点的に教育を行っている。								8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			顧客管理は紙媒体で管理しないことを徹底しているだけでなく、PC内のデータ保護の為、セキュリティ対策を行っている。																16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)																				16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)								5			8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」は作現在、作成・公表予定で動いている。2025年中の取得を目標に、現在社内で準備中である。			3					8	9	10							17	

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 （必須）			シックハウスの原因の一つであるホルムアルデヒドの含有量が、国の指定する基準F★★★★0.005mg／m ³ 以下の商品のみを使用している。			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 （必須）			粗悪品をお客様に提供することのないよう、適正な業者から商品を仕入れるだけでなく、施工する職人によってサービスに差が出ないよう、1級技能士の取得を社員にすすめ、安定したサービスを提供できるようにしている。							9										
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ （任意）								6						12	13	14	15			
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ （任意）				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）			商工会活動に積極的に参加することで、地域を活性化の行動をしているだけでなく、自社だけのフェスティバルへの出店や体験会を実施することで、地域の活性化を促している。				4				9		11	12		14	15		17	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ （任意）							4							11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ （任意）											8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 （必須）			社内ミーティングや朝礼等での理念や目標の共有はもちろん、それに向けた具体的な行動指針等を明確にすることで、社員全員への共有を行っている。							8	9									17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 （必須）			就業規則だけでなく、法令遵守の概念も社内ミーティング等で共有している。特に道路交通法や建築基準法に関しては毎日携わるものなので、付随する資格取得を推奨している。（建築施工管理技士等）																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 （必須）			消防団協力事業所表示制度を取得した。社内においても社会・環境に及ぼす影響の認識を改める																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）			ステークホルダーと円滑なコミュニケーションをとることで、不測の事態が発生した場合においても、落ち着いて、適切な対応をすることで、トラブルを最小限に抑えるよう、社員教育を行っている。															16	17	
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）																				16
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）																				16
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）												9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）			世代交代に向け、他社経営管理に携わる役員等との対談の場を設けている。スムーズに事業承継を行った会社のモデルを学び、自社に取り組めることがないか、検討している。								8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
抗菌、防カビ、調湿等、内装の観点から健康にかかわる商材を可能な限り使用する		打ち合わせ、見積もり段階で健康にかかわる商材を積極的にアピールしていく。今年度では、卵の殻を用いたクロス「エッグウォール」を施工し、SNSに投稿した。採寸発注段階での数量の見直しを行っており、現に在庫処分量が2%減少している。																	
施工中に発生する廃プラスチックを可能な限り低減させる		充電機は、基本的には使用しないように取り組んでいる。また、車輛も今後ハイブリッド車を1台購入予定である。																	
CO2排出量を可能な限り低減させるために、車両や発電機等の利用に注意する																			

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定